

令和 7 年 7 月 25 日

大阪府立環境農林水産総合研究所との研究支援事業 令和 7 年度支援対象研究決定！

当会と大阪府立環境農林水産総合研究所は、主に大阪府域の農業者、JA、事業者に貢献する技術開発、技術教育等を支援することにより、将来的に地域産業の発展に寄与することを目的に研究支援基本協定を締結しております。

本協定に基づき、当会は「研究支援事業」として大阪府立環境農林水産総合研究所の研究員が行う研究に対し、研究費の支援を行っております。

今般、令和 7 年度の研究支援事業において、以下の3つの研究に対する支援を決定いたしました。

引き続き、研究への連携強化や研究成果に関する情報発信等に取り組み、大阪都市農業のさらなる発展及び豊かな地域社会の実現を目指してまいります。

＜支援対象研究＞

研究者名・役職 所属	上森 真広 主任研究員 古川 真 総括研究員兼グループリーダー 食と農の研究部 葡萄グループ
研究テーマ	イチジク株枯病抵抗性台木「励広台 1 号」の普及に向けた「榊井ドーフィン」接ぎ木樹の栽培特性の把握と現地実証 (内容) 土壌病害イチジク株枯病に抵抗性を持つ台木「励広台 1 号」に接いだ「榊井ドーフィン」の栽培特性を解明し、府内生産者への情報提供及びスムーズな導入を進め、大阪のイチジク栽培は、「励広台 1 号」の利用がスタンダードとなることを目指す。 (前年度の取り組み) 定植 7 年目までの「励広台 1 号」台樹の樹体生育、果実生産性が経営上問題ないことを確認。また、幼木（定植 3 年目）の「励広台 1 号」台樹の樹体生育データを取得し、栽培特性の再現性を確認。加えて、府内の株枯病被害園に導入した「励広台 1 号」台樹（定植 1 年目）が健全に生育することも確認。 (今年度の取り組み予定) 定植 8 年目の「励広台 1 号」台樹の樹体生育，果実生産性を明らかにするとともに、定植 4 年目の栽培特性の再現性の確認を継続。さらに，府内の株枯病被害園での「励広台 1 号」台樹の現地実証を継続する。これらの成果を講習会等で生産者・普及指導員・営農指導員に広く情報提供し，普及が進みつつある「励広台 1 号」台樹のさらなる導入を支援。
支援開始時期	令和 5 年度

研究者名・役職 所属	田所 晃汰 研究員 食と農の研究部 葡萄グループ
研究テーマ	ブドウ‘シャインマスカット’早期出荷のための糖度上昇技術の確立 (内容) ‘シャインマスカット’の糖度上昇技術として報告されている光環境の改善や環状はく皮処理について、これらの糖度上昇技術を改良して、早期出荷を目標とした‘シャインマスカット’糖度上昇技術の確立を目指す。 (前年度の取り組み) 雨よけ栽培において、光反射シート処理、環状はく皮処理、ナイフ傷処理の3種類の糖度上昇技術の効果、コスト、樹体への影響を調査。試験の結果、環状はく皮処理とナイフ傷処理による糖度上昇効果を確認。また、環状はく皮処理については、無処理時と比較して出荷規格である糖度 18 度に到達するまでの日数が 10 日程度短くなることを確認。一方、光反射シート処理では、糖度上昇効果が見られず、コストも他の処理と比較して高くなることを確認。 (今年度の取り組み予定) 大阪府内で増加している二重被覆無加温栽培における、糖度上昇効果、コスト、樹体への影響を検証。環状はく皮処理、ナイフ傷処理に加え、2 種類を組み合わせた場合についても試験予定。また、環状はく皮処理における処理方法についても、はく皮ナイフ等の道具を活用し処理時間の短縮を目指す。
支援開始時期	令和 6 年度

研究者名・役職 所属	大石 真美 主任研究員 食と農の研究部 園芸グループ
研究テーマ	サクラ花色濃淡調整技術の開発 (内容) 大阪府内で1～3月に出荷するサクラ「啓翁桜」について、産地で課題となっている出荷開始初期の着色不良を解決するため、青色光照射および青色光・赤色光の混合照射による出荷規格のサクラ切り枝の着色調整技術を実証する。 (前年度の取り組み) サクラ「啓翁桜」切り枝に光照射し、開花ステージ、青色LEDの光強度、照射時間ごとの開花数と花弁色の評価を実施。また、青色光の対照として赤色光を照射した切り枝との比較も実施。開花前日～開花後の花については、青色光照射による安定した着色を確認。出荷前のつぼみについては、青色光では着色は促進するものの開花が進まず、赤色光では開花はするものの着色しないことを確認。 (今年度の取り組み予定) 昨年度の試験にて安定しなかった出荷前のつぼみを対象に、開花促進のための赤色も含めた複数波長（青色＋赤色）による照射実験を実施し、生産者前処理時の着色調整が可能か追加検討。 昨年度の試験にて安定して着色した開花前日～開花後の花を対象に、後処理を想定して、出荷規格のサクラ「啓翁桜」切り枝に光照射を行い開花数と花弁色の評価を実施。光源は青色LEDだけでなく、店舗やショーケース内等で導入しやすい青色波長が含まれる白色LED、白色蛍光灯を検討予定。
支援開始時期	令和6年度